

学生・卒業生の地元就職やUIJターンをサポート 千葉県と「就職支援に関する協定」を締結 ～千葉県森田健作知事・工藤秀機学長が締結式に登壇～

文京学院大学（学長：工藤秀機）は、学生への就職活動支援と、千葉県へのUIJターンや地元就職の促進を目的とし、千葉県と「就職支援に関する協定」を締結いたしました。

協定の趣旨及び背景

千葉県では、県内企業の人手不足が深刻化しており、若者の地元就職による労働力確保が重要な課題となっています。毎年県内の大学進学者の半数近くが都内などの大学へと進学していることから、地元就職における連携を目的として、千葉県としては初めて本学を含む12校の県外大学と協定を締結するに至りました。



就職支援協定締結式と協定を締結した森田知事と工藤学長

本学では、本協定を通じて学生・卒業生たちへの企業・求人情報の提供やインターンシップの支援を強化していくとともに、千葉県における地元就職定着・促進に貢献してまいります。

本学においても千葉県から通学している学生は多く、在学生の約10%を占めています。また「新たな地で活躍したい」と、東京以外での就職を視野に入れる学生たちもおり、2018年の卒業生では50名が千葉県内企業への就職を決定しています。今回協定を結んだ12校全体では、2018年4月に千葉県内企業へ就職した2,032名のうち38.7%が千葉県出身者となっている一方、本学ではそれを大きく上回る48.0%の学生が千葉県出身者としてUIターン就職を決めています。本協定の締結によって本学から提供できる千葉県内の企業情報がより充実し、昨今話題となっているUIJターンを希望する学生に対してより有意義で、手厚いキャリアサポートが可能になると考えています。

また、こうした就職支援に関するサポートは、新卒として就職を迎える在学生はもちろんのこと、転職を考える卒業生に対しても広く提供し、本学が目指す“いつまでも卒業生たちのホームであり続ける「永久サポート大学」”としての役割を果たしていく所存です。

<文京学院大学について>

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。建学の精神「自立と共生」のもと、先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。